

Lesson 1 A Story about Names

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①日本以外の国における姓と名の順序について知ろうとする。 ②姓がどのようにしてできたのかを知ろうとする。 ③姓のない国や地域があることに気づき、その文化を尊重しようとする。 ●姓の由来や、名前をめぐる世界の状況を学び、その背景にある歴史や文化を理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①自分のことについて、SV/SV0の文型の英文で言うことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SVCの文型の英文で言うことができる。 ③ある出来事について、SV00の文型の英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①自分のことについて、SV/SV0の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SVCの文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③ある出来事について、SV00の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●英語で話す際の姓と名の順序について、自分の意見を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①姓と名の順序に関する英文を聞き、世界のどの地域のことについて述べられているのかを聞き取ることができる。 ②姓の由来に関する英文を聞き、その具体例を聞き取ることができる。 ③姓のない国や地域に関する英文を聞き、どの国の、何という名前について述べられているのかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文2つを聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①姓と名の順序に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②姓の由来に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③姓のない国や地域に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話することができる。 ●動詞と名詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●英語で話す際の姓と名の順序について、自分の考えを述べることができる。 ●英語圏の国の姓の由来について、さらに深く調べようとする。 ●ミャンマーやモンゴルのように姓のない国や地域をほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 2 Messages from Yanase Takashi

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①やなせたかしさんが「アンパンマン」を創作した当時のことについて、知ろうとする。 ②やなせたかしさんにとってのヒーロー像を、理解しようとする。 ③アンパンマンの特徴を理解し、やなせさんが残したメッセージについて自分の考えをまとめようとする。 ●やなせたかしさんが残したメッセージを通して、自分が他者のためにできることを考える。
表現の能力	話すこと	①ある人やものの様子・状態について、SVOCの文型の英文で言うことができる。 ②自分の考えや信念について、that節を含む英文で言うことができる。 ③ある人やものの様子・状態について比較級や最上級で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものの様子・状態について、SVOCの文型を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②自分の考えや信念について、that節を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものの様子・状態について比較級や最上級を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分が好きなアニメキャラクターについて簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①アンパンマンに関する英文を聞き、アンパンマンが創作されたときのことを聞き取ることができる。 ②やなせさんのヒーロー像に関する英文を聞き、真のヒーローとはどのような人物かを聞き取ることができる。 ③アンパンマンに関する英文を聞き、アンパンマンの特徴とやなせさんが残したメッセージを聞き取ることができる。 ●やなせたかしさんがアンパンマンを創作した背景を聞き取り、アンパンマンに込められたメッセージを日本語で説明することができる。
	読むこと	①やなせたかしさんが「アンパンマン」を創作した当時のことについての英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②やなせさんのヒーロー像に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ③アンパンマンが他者を助ける過程とやなせさんが残したメッセージを読み、その内容を時系列にまとめることができる。 ●形容詞と副詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●やなせさんが残したメッセージについて、感想を述べることができる。 ●真のヒーロー像について、自分の考えを述べることができる。 ●やなせたかしさんの他の作品についても調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I New Edition 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Activity Corner 1

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●週末のできごとについて、自分の経験を述べようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●会話を暗記してスキットをすることができる。 ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った会話を基に、スキットをすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手に相づちを打ったり、ほめたりする会話を作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、週末に自分が行ったところと、したことを説明する会話を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●沙也加とデイビットの会話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●相づちを打つ表現やほめる表現を意識しながら、沙也加とデイビットの会話を読み、その内容を理解することができる。

Lesson 3 Purposes of the Olympics

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①古代オリンピックがどのようなものであったかを知ろうとする。 ②近代オリンピックの始まりとオリンピックシンボルについて知ろうとする。 ③オリンピックの問題点と目的について、自分のことばでまとめようとする。 ●オリンピックの歴史と目的について触れ、国際交流への関心を高める。
表現の能力	話すこと	①ある人や物の様子・状態について、助動詞を含む英文で言うことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、受け身で言うことができる。 ③ある人やものの様子・状態について、助動詞のついた受け身で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人や物の様子・状態について助動詞を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものの様子・状態について受け身を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものの様子・状態について助動詞のついた受け身を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●自分の好きなオリンピック種目について自分の意見を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①古代オリンピックに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ②近代オリンピックの始まりとオリンピックシンボルに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ③オリンピックの問題点とクーベルタンの意見に関する英文を聞き、オリンピックで大切なことについて聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①古代オリンピックに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②近代オリンピックの始まりとオリンピックシンボルに関する英文を読み、その内容を時系列に並べることができる。 ③オリンピックの問題点とクーベルタンの意見に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●主語と(述語)動詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●オリンピックで大切なことについて、自分の考えを述べるができる。 ●オリンピックで利用している国際文化について、さらに調べ、調べようとする。 ●オリンピックの問題点はどのように解消されるべきなのか、深く調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 4 Hospital Art

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ホスピタルアートの役割について理解しようとする。 ②銅版画家の山本容子さんがホスピタルアートに興味をもった理由について知ろうとする。 ③スウェーデンのホスピタルアートはどのようなものか知ろうとする。 ●ホスピタルアートの作品の写真を鑑賞し、感想を述べる。
表現の能力	話すこと	①自分や他者の動作が進行している様子について、進行形で言うことができる。 ②自分や他者の動作の継続・経験・完了について、現在完了形で言うことができる。 ③自分や他者の動作の継続・経験・完了について、過去完了形で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①自分や他者の動作について進行形を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者の動作の継続・経験・完了について現在完了を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③自分や他者の動作の継続・経験・完了について過去完了を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分の好きな芸術とその理由について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ホスピタルアートに関する英文を聞き、その役割について聞き取ることができる。 ②銅版画家の山本容子さんに関する英文を聞き、ホスピタルアートに興味を持った理由を聞き取ることができる。 ③スウェーデンのホスピタルアートに関する英文を聞き、それらの特徴を聞き取ることができる。 ●ホスピタルアートの役割を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ホスピタルアートに関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ②銅版画家の山本容子さんに関する英文を読み、ホスピタルアートへの取り組みを短い要約文にまとめることができる。 ③スウェーデンのホスピタルアートに関する英文を読み、その内容を表にまとめることができる。 ●前置詞句に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ホスピタルアートの効果について、自分の考えを述べることができる。 ●山本容子さんのホスピタルアートの作品について、さらに深く調べようとする。 ●ホスピタルアートはどのようなものか知ろうとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I New Edition 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Activity Corner 2

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●注意を引いたり、理由を述べたりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチを暗記して、発表することができる。 ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして作ったスピーチを発表することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして、注意を引いたり、理由を述べたりする表現を使ったスピーチを作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、自分の宝ものを紹介するスピーチを作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●正人のスピーチを聞き、その内容に自分ものを表から選ぶことができる。 ●由紀のスピーチを聞いて、その内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●注意を引いたり、理由を述べたりする表現を意識しながら、由紀のスピーチを読み、その内容を理解することができる。

Lesson 5 Writing Systems in the World

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①文字がどのようにして今のかたちになったのかを推測しようとする。 ②古代の文字はどのようなものであったのかを知ろうとする。 ③文を書く方向には複数の種類があることを理解しようとする。 ④文字をめぐる世界の状況について、自分のことばでまとめようとする。 ●世界にはさまざまな種類の文字や文を書く方向があることを知り、その背景にある歴史や文化を尊重しようとする。
表現の能力	話すこと	①自分や他者のことについて、動名詞を含む英文で言うことができる。 ②自分や他者のことについて、to不定詞の名詞的用法や副詞的用法を含む英文で言うことができる。 ③あるものの様子・状態について、to不定詞の形容詞的用法を含む英文で言うことができる。 ④ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、<It is ... to不定詞>の構文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①自分や他者のことについて動名詞を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者のことについて、to不定詞の名詞的用法や副詞的用法を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③あるものの様子・状態について、to不定詞の形容詞的用法を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、<It is ... to不定詞>の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●世界に存在するさまざまな文字から興味のあるものを1つ選び、選んだ理由を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①文字の成り立ちに関する英文を聞き、具体例を聞き取ることができる。 ②古代の文字に関する英文を聞き、それらが書かれた場所を聞き取ることができる。 ③文を書く方向に関する英文を聞き、それぞれの書き方の代表言語を聞き取ることができる。 ④文字をめぐる世界の状況に関する英文を聞き、どこの国や地域の、どのような言語について述べられているのかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①文字の成り立ちに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②古代の文字に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③文を書く方向に関する英文を読み、その英文で言及された言語を書き方ごとに分けることができる。 ④文字をめぐる世界の状況に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ●あらかじめ引かれてある斜線(スラッシュ)ごとに意味を確かめながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●文字をめぐる世界の状況について、自分の考えを述べることができる。 ●エジプトや中国のように、古代の文字を持つ国や地域をほかに調べようとする。 ●文を書く方向についてさらに深く調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 6 Washoku —Traditional Japanese Dishes —

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①世界の無形文化遺産について知ろうとする。 ②和食の4つの特徴について知ろうとする。 ③日本人が普段食べているものについて、認識しようとする。 ④食文化を守る取り組みについて、理解しようとする。 ●無形文化遺産に登録された和食について認識を深め、食文化の発展と伝統保護について自分の考えをまとめようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものについての説明を関係代名詞(主格)で言うことができる。 ②ある人やものについての説明を関係代名詞(目的格)で言うことができる。 ③自分が欲しいものやある人がしたことなどについて、関係代名詞whatを含む英文で言うことができる。 ④ある行為について、SV0102(O2 = how to ~)の構文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものについて関係代名詞(主格)を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものについて関係代名詞(目的格)を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③自分が欲しいものやある人がしたことなどについて関係代名詞whatを含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④ある行為について、SV0102(O2 = how to ~)の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分の好きな料理と、その料理の起源について相手に言うことができる。
理解の能力	聞くこと	①世界の無形文化遺産に関する英文を聞き、その特徴を聞き取ることができる。 ②和食に関する英文を聞き、その4つの特徴を聞き取ることができる。 ③日本人の食文化の変化に関する英文を聞き、普段食べている食事の起源を聞き取ることができる。 ④食文化を守る取り組みを行っている国に関する英文を聞き、どのような取り組みをしているのかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①世界の無形文化遺産に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②和食に関する英文を聞き、その4つの特徴を平易な表にまとめることができる。 ③日本人が普段食べている食事の起源に関する英文を読み、その内容と一致するものを順番に並べかえることができる。 ④食文化を守る取り組みに関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をする。 ●あらかじめ引かれてある斜線(スラッシュ)ごとに意味を確かめながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。 ●無形文化遺産に登録された食文化について、自分の感想を述べる。
言語や文化についての知識・理解		●和食の4つの特徴についての例を、さらに深く調べようとする。 ●食文化をどのように守るべきか、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I New Edition 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Activity Corner 3

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●相手に何かを主張をしたり、相手の意見に賛成・反対したりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●会話を暗記してスキットをすることができる。 ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った会話を基に、スキットをすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手に何かを主張したり、相手の意見に賛成・反対したりする会話を作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、自分にとって最も大切な行事を伝え、相手の意見に賛成したり反対したりする会話を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●孝太とサラの会話を聞き、その内容に合うものを表から選ぶことができる。 ●孝太とサラの会話を聞いて、その内容を口で話し説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●主張したり、賛成・反対したりする表現を意識しながら、孝太とサラの会話を読むことができる。

Lesson 7 From Landmines to Herbs

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①篠田ちひろさんがカンボジアに行った理由について知ろうとする。 ②世界の地雷の状況について知り、自分のことばで説明しようとする。 ③篠田さんがハーブに関する知識をどのように得たのかを知ろうとする。 ④篠田さんの夢について、自分のことばでまとめようとする。 ●世界の地雷問題と地雷の跡地利用について自分の考えをまとめようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものについての説明を、現在分詞の形容詞的用法を含む英文で言うことができる。 ②ある人やものについての説明を、過去分詞の形容詞的用法を含む英文で言うことができる。 ③ある行為をするときの様子・状況について、分詞構文で言うことができる。 ④2つのことが同時に起こっている状態について、分詞構文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものについて、現在分詞の形容詞的用法を含む英文を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものについて、過去分詞の形容詞的用法を含む英文を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある行為をするときの様子・状況について、分詞構文を使ってまとめた内容の文章を書くことができる。 ④2つのことが同時に起こっている状態について、分詞構文を使ってまとめた内容の文章を書くことができる。 ●どの国でボランティア活動してみたいかを簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①篠田ちひろさんに関する英文を聞き、カンボジアに行った理由を聞き取ることができる。 ②世界の地雷の状況に関する英文を聞き、地雷の跡地はどのような場所かを聞き取ることができる。 ③クルクメールとはどのような人なのか、篠田さんがハーブに関する知識をどのように得たのかを聞き取ることができる。 ④篠田さんが自分の夢について、聞き取った内容を自分の言葉で説明することができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①篠田さんがカンボジアで行ったことに関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話することができる。 ②地雷の状況と篠田さんが計画したことに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③篠田さんがハーブの知識を得た過程に関する英文を読み、その要約文を書かれてある順番に並べかえることができる。 ④篠田さんのハーブビジネスに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●代名詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●世界の地雷の状況について、自分の考えを述べることができる。 ●地雷の跡地の活用方法について、さらに深く調べようとする。 ●篠田ちひろさんのように、ビジネスを通じて社会貢献をする例をほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 8 A Mysterious Object from the Past

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ダイバーたちが海中で見つけたものやそのときの状況を知ろうとする。 ②発見された謎の物体が、どのような構造になっていたかを理解しようとする。 ③「アンティキテラの機械」の使用目的を推測しようとする。 ④「アンティキテラの機械」について、最新の科学技術が解明したことと、まだ解明されていないことを知ろうとする。 ●遺物の解析を通してわかった古代人の技術力を学び、未解明の部品の働きが何なのか、自分なりに考えをまとめようとする。
表現の能力	話すこと	①ある場所についての説明を、関係副詞whereを含む英文で言うことができる。 ②ある時についての説明を、関係副詞whenを含む英文で言うことができる。 ③あることからの理由についての説明を、関係副詞whyを含む英文で言うことができる。 ④ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... that ~〉の構文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある場所について関係副詞whereを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある時について関係副詞whenを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③あることからの理由について関係副詞whyを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... that ~〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●ほかの古代の遺跡や遺物について、どのようなものが見てみたいか、またその理由について、自分の考えを簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①「アンティキテラの機械」の発見について英文を聞き、その経緯や状況を聞き取ることができる。 ②「アンティキテラの機械」の構造について英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ③「アンティキテラの機械」の使用目的に関する20世紀の研究について英文を聞き、その結果を聞き取ることができる。 ④「アンティキテラの機械」に関する最新の研究について英文を聞き、その結果を聞き取ることができる。 ●「アンティキテラの機械」が人々を魅了する理由を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①「アンティキテラの機械」の発見について英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②「アンティキテラの機械」の構造について英文を読み、部位ごとに特徴をまとめることができる。 ③「アンティキテラの機械」の使用目的に関する20世紀の研究について英文を読み、研究者の意見とそれに関する事実を平易な表にまとめることができる。 ④「アンティキテラの機械」に関する最新の研究について英文を読み、その内容が事実なのか意見なのかを判別することができる。 ●時を示す語句に注意を払いながら英文を読み進め、時系列に沿ってその内容を理解することができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●「アンティキテラの機械」に関する研究について、自分の考えを述べる ことができる。 ●「アンティキテラの機械」について、さらに深く調べようとする。 ●「アンティキテラの機械」のように、使用目的はわからないが古代の進んだ技術によって作られた機械をほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I New Edition 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Activity Corner 4

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●説明をしたり、言い換えたりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチを暗記して、発表することができる。 ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして作ったスピーチを発表することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして、説明をしたり、言い換えたりするようなスピーチを作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、自分が紹介したい行事についてのスピーチを作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチを聞き、その内容に合うものを表から選ぶことができる。 ●健一のスピーチを聞いて、その内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●説明をしたり、言い換えたりする表現を意識しながら、健一のスピーチを読むことができる。

Lesson 9 Sesame Street

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①世界各国で放送されているセサミストリートにはそれぞれ特徴があることを知ろうとする。 ②セサミストリートが多様性と平等性というメッセージを大切にしていることを理解しようとする。 ③南アフリカ版や中南米版独自の登場人物の存在を知り、それぞれの特徴を理解しようとする。 ④セサミストリートが子どもたちにとって果たしている役割について、自分の考えをまとめようとする。 ●さまざまなセサミストリートに共通するメッセージについて、自分の考えをまとめようとする。
表現の能力	話すこと	①ある条件が満たされれば起こることがらについて、if節を含む英文で言うことができる。 ②現在の事実と反することや実現の可能性が低いことがらについて、仮定法過去を含む英文で言うことができる。 ③実現できるかどうかわからない願いについて、<I wish>を含む英文で言うことができる。 ④あたかも事実のようなことについて、<as if>を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある条件が満たされれば起こることがらについて、if節を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②現在の事実と反することや実現の可能性が低いことがらについて、仮定法過去を使い、まとめた英文を書くことができる。 ③実現できるかどうかわからない願いについて、<I wish>を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④あたかも事実のようなことについて、<as if>を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●世界に紹介したい日本のテレビ番組について、簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①セサミストリートが放送されている地域について英文を聞き、地域ごとに異なる登場人物がいることを聞き取ることができる。 ②セサミストリート誕生時の社会情勢について英文を聞き、番組が大切にしているメッセージを聞き取ることができる。 ③南アフリカと中南米のセサミストリート独自の登場人物について英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ④世界中の子どもたちがセサミストリートを楽しんでいることについて英文を聞き、番組が果たしている役割を聞き取ることができる。 ●セサミストリートの各国独自の登場人物について英文を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①セサミストリートの登場人物について英文を読み、その特徴を指摘することができる。 ②セサミストリート誕生時の社会情勢について英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③南アフリカと中南米のセサミストリート独自の登場人物について英文を読み、その特徴について友人同士で対話することができる。 ④各国のセサミストリートが伝えようとしていることについて英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●文章の構成に注意を払いながら英文を読み進め、内容をとらえることに加え、主題文、まとめ文を指摘することができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●世界各国に独自のセサミストリートがあることについて、自分の意見を述べることができる。 ●ここで紹介されていない国や地域におけるセサミストリートの特徴について、調べようとする。 ●セサミストリートが大切にしている多様性と平等性について、さらに深く調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 10 Heritages of Beatrix Potter

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ポターがどのように子ども時代を過ごしたかについて、知ろうとする。 ②ポターが湖水地方に興味を持った理由について、自分の考えをまとめようとする。 ③ポターがなぜ湖水地方を守ろうとしたのか、その理由を理解しようとする。 ④ポターが残したものはどのようなものか、知ろうとする。 ●環境保護のために自分にできることについて、自分の考えをまとめようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人にしてもらいたいことがらについて、〈S+want+0+to不定詞〉の構文を含む英文で言うことができる。 ②ある人にさせたかったり、させてあげたいことがらについて、使役動詞を含む英文で言うことができる。 ③ある人やものの一瞬の動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+0+~ing [原形不定詞]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ④二者択一の問いについて、〈S+ask+0+if~〉の構文を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人にしてもらいたいことがらについて、〈S+want+0+to不定詞〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人にさせたかったり、させてあげたいことがらについて使役動詞を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものの一瞬の動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+0+~ing [原形不定詞]〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④二者択一の問いについて、〈S+ask+0+if~〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分が保護したい場所について、簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ポターの子どもの時代に関する英文を聞き、湖水地方に行った理由を聞き取ることができる。 ②湖水地方に起こった危機に関する英文を聞き、ポターがなぜ環境保護に興味を持ったのかを聞き取ることができる。 ③ピーターラビットが出版されたことに関する英文を聞き、ポターがどのように湖水地方を守ろうとしたのかを聞き取ることができる。 ④ポターが残したものに関する英文を聞き、現在の湖水地方の状況を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ポターの子どもの時代に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②湖水地方の当時の状況やポターが出会った人に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③ポターが湖水地方を守るためにしたことに関する英文を読み、時系列に並べることができる。 ④ポターが残したものについての英文を読み、友人同士でその内容について対話することができる。 ●文章の構成に注意を払いながら英文を読み進め、内容をとらえることに加え、主題文、支持文、まとめ文を指摘することができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●環境保護への取り組みについて、自分の意見を述べることができる。 ●ポターが守ろうとした湖水地方とはどのような場所か、調べようとする。 ●ナショナルトラストについて、さらに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I New Edition 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Reading From Hardship to Friendship

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●まとまった文章を、物語の展開を理解しながら読もうとする。 ●Burglerの行動から、何をしようとしているのか推測しようとする。 ●「コミュニケーション英語I」を通して学んだ文型・文法事項を活用して、物語の内容をとらえようとする。 ●読み取った内容を、スキットなどで実際に表現しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物がだれであるか、説明することができる。 ●物語の一部分についての質問に対して、英語で答えることができる。 ●物語をいくつかの部分に分け、スキットで演じることができる。 ●物語の感想を英語で簡単に言うことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分について、文章をト書き風に書き直すことができる。 ●物語の感想や印象に残った文について、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●物語の最後の部分を自分なりに展開させて、まとまった内容の文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分を聞き、話の展開の概要を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●代名詞などに注意を払いながら物語を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●できごとを示した英文を読んで、それらを起こった順番に並べかえることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、登場人物の気持ちやようすがよく伝わるように音読することができる。 ●登場人物になったつもりで、感情をこめて音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ●誘う表現をほかにも調べようとする。 ●既習の文型・文法を使った文章を読みこなすことができる。